

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	国分寺市立児童発達支援センターつくしんば			
○保護者評価実施期間	令和7年10月15日 ~			令和7年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名 (22世帯)	(回答者数)	16世帯
○従業者評価実施期間	令和7年10月15日 ~			令和7年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月28日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	客観的に分析されているうえで計画を立て取り組んでいる	心理士、専門の先生（SI、OT）からの助言や日々の課題、取り組んでいることを共有し活動を組み立てている。	
2	事業所の職員が共感的支援を実施している	毎回必ず保護者へフィードバックを行い、家の状況と事業所の様子を共有している。	
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応に関する周知	事業所の安全計画、災害時のマニュアル等職員へ周知、訓練を行っていますが、保護者の方への周知方法や取り組みに関しては工夫をする必要がある。	アプリでバス乗車管理導入している事について周知していく。
2	連絡帳やお便りの電子媒体の活用。ホームページ、SNS等を使った情報の発信	アプリを導入したが、保護者への周知不足と、職員のアプリの操作理解が十分でない。	積極的にアプリを活用し、情報提供をしていく。
3			